

立命館大学サービラーニングセンター（SLC）で “学生コーディネーター”の活動に挑戦しませんか？

地域や学内で活躍する“学生コーディネーター”とは？

学生コーディネーターは、立命館大学サービラーニングセンターで、学生同士が主体的に学び合い、支え合う「ピアサポーター」として学生と地域をつなぐ活動を行っています。具体的には、ミッション＆ポリシーに基づいて、学生によるボランティアや地域社会に貢献する活動を促進・支援するために、ボランティアや地域活動に関する相談対応、活動に関する情報の収集や発信、地域と学生が会えるきっかけとなるプログラムの企画などを行っています。



学生コーディネーターとしての活動を通して

以下のような姿勢や素養を身につけることを目指します

【Facilitation】

サービラーニング科目でのESや、ボランティアコーディネーターとして正課内外で学生の地域活動や学びを促す

【Coordination】

活動フィールドとなる地域や団体、学生と、共感を軸にした関係性を築き、学生と地域を対等につなぐ

【Citizenship】

地域社会や社会課題に目を向けて、社会の担い手の一員としてのマインドを持ち、自ら行動を起こすことができる

サービラーニングセンターの主な取り組み

ボランティア相談への対応と環境整備

・地域のボランティア活動などの情報を集め、学生への提供を行います。ボランティアに参加したい学生に向けて、関心のある分野、活動地域、期間などから、自分に合ったボランティア活動を見つけるのを、学生コーディネーターや職員がサポートします。

課外サービラーニングプログラムの実施

・ボランティア初心者向けのプログラムや、災害復興支援活動、宿泊型で地域課題について学ぶ活動など、実際に地域の中で行うプログラムのほか、学内外のボランティアや地域貢献活動団体が集まるガイダンスなどを行っています。

サービラーニング科目（教養C群）の開講

・主にNPO・NGOや地域の市民団体、行政機関と共働して、身近な社会の課題や問題を地域の人々と一緒に考え、汗を流し、解決していくことを通じてシチズンシップを学ぶ科目を開講しています。

課外サービラーニングプログラムの例

【地域での活動】

- *ボランティア体験プログラム
- *大船渡盛町七タまつりサポートプロジェクト
- *高島ワークキャンプ

【学内での活動】

- *ボランティアフェスティバル
- *災害ボランティアセンター実践講座（京都市災害ボランティアセンター協力事業）

サービラーニング科目一覧

2019年度以前入学生

- *地域参加学習入門
- *シチズンシップ・スタディーズⅠ
- *シチズンシップ・スタディーズⅡ
- *現代社会のフィールドワーク
- *ソーシャル・コラボレーション演習
- *全学インターンシップ(SLC開講分)

2020年度入学生

- *地域参加学習入門
- *現代社会とボランティア
- *現代社会のフィールドワーク



※入学年度によって、受講できる科目が異なります。
※科目詳細は右のQRコードから確認ください

サービラーニング科目の
↑ 紹介はこちらから ↑

◆活動内容

学生コーディネーターは、教職員らとともに、立命館大学サービslラーニングセンター(SLC)が掲げるミッション&ポリシーの実現に向けて、立命館大学に在籍する学生たちのボランティアや地域貢献活動を促進・支援するため、学生と地域をつなぐ活動を行います。具体的には、以下のような取り組みを行います。それぞれが関連しあうため、各取り組みとの連動を図る役割も期待されます。



●ボランティア相談への対応と環境の整備

- ・地域、NPO・NGOやボランティア団体の情報収集や開拓、ニーズの受け止め、関係性の構築
- ・学生から寄せられるボランティアや地域活動に関する相談対応
- ・学生に向けてのボランティアや地域活動についての啓発・促進・情報発信

●課外サービslラーニングプログラムの企画運営

- ・学生に地域参加の機会を提供するサービslラーニングプログラムの企画・運営
- ・学生団体の情報収集、学生団体の活動サポート、活動創出支援
- ・サービslラーニングセンター主催企画の運営



●サービslラーニング科目(教養C群)の運営補助

- ・サービslラーニング科目の受講生の地域での活動や、教室での学びの促進・支援(ES など)
- ・科目の活動報告会などの発表機会における運営協力



◆活動条件

- ・活動キャンパスは所属キャンパスとなります。
 - ・採用後の新メンバー対象研修、および年度末の3キャンパス合同合宿は参加必須とします。(※)
 - ・学生コーディネーターの活動は原則として無給です。ただし、以下の費用については補助を行います。
 - ▶プログラムの実施にかかる経費(消耗品費、団体との打ち合わせの際の交通費など)
 - ▶活動のスキルアップにかかる経費(SLCが指定する研修プログラムの受講費および交通費) など
- ※研修や合宿については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によってオンライン等での実施となる場合があります。



◆活動期間

- ・原則、採用されてから本学を卒業するまで
 - ▶半年ごとにふりかえりシートや面談を用いて活動へのふりかえりと継続の意思確認を行います
 - ▶本人と事務局の相談の上、活動の辞退や休止を決める場合や、活動状況によっては継続を認めない場合があります

◆応募資格:次の1~3のすべての条件を満たすこと

- 1.立命館大学の衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパス所属の1回生であること。
- 2.立命館大学サービslラーニングセンターのミッション&ポリシーに賛同し、自分自身を含めた本学学生がボランティアや地域活動、社会貢献活動へと参加し、その経験から学びを深める「サービslラーニング」の発展に寄与する意思があること。
- 3.以下の①もしくは②のいずれかの経験がある(または、現在している)こと。
 - ①ボランティアや地域貢献活動の経験(小~高校時代の経験、大学でのプログラムへの参加、ボランティア系サークルでの活動など)、②サービslラーニング科目(教養C群、詳細は1ページ参照)の受講

◆**募集人数** 衣笠キャンパス:若干名 大阪いばらきキャンパス:若干名

◆**応募方法** 立命館大学サービスラーニングセンターHP より申込フォームから申し込みください。

◆**応募期間** 秋学期追加募集 2020年10月13日(火)9:00 ~ 10月19日(月)9:00 まで

◆**選考** 応募フォーム提出後、面接を実施します。応募フォームに記載された志望動機や、面接内容をもとに選考を行います。

選考は以下の観点をもとに評価します。

- ・SLC での活動への知識(サービスラーニングやボランティアコーディネーションの基本的な理解)
- ・SLC での活動への意欲(学生コーディネーターとして達成したいことや、なりたい姿、活動で生かしたい経験など)
- ・自分の意見や想いを伝えられる、また、他者の声に向き合うことができるコミュニケーションスキル

◆**採否通知** 採否の通知は、10月26日(月)17:00 までに manaba + R の個人宛への通知を予定しています。

応募から活動開始までの流れ

10月 14日:OIC 昼 15日:衣笠 昼	《募集ガイダンス》 ※オンラインにて実施予定 衣笠・OIC にて開催されるガイダンスへの参加、またはセンター窓口への問い合わせ (必須ではありませんが、応募を考えている場合はぜひ参加してください)
10/13(火)~ 10/19(月)	《応募受付》 募集要項をよく読んだ上で、HP より応募 面接日程の通知(メールにて決定通知を送付するので必ず確認してください)
10/20(火)~ 10/23(金)	《面接》 ※オンラインにて実施予定 面接を実施。 ※応募人数によってはグループ面接の可能性あり
10/26(月)	《採否発表》
10月末~	正式活動開始
11/1(日)	《新メンバー対象合同研修》 ※オンラインにて実施予定

※2020年10月12日現在の予定です。BCPレベルや授業形態によって変更となる可能性があります。

よくある質問

Q1. この活動はボランティアサークルですか？

A1.「学生コーディネーター」は、ボランティアサークルではなく、サービスラーニングセンターに所属して活動する「ピアサポーター」として、教職員と共働しながら、学生のボランティアへの理解や参加を促進し、ための取り組みを行っています。

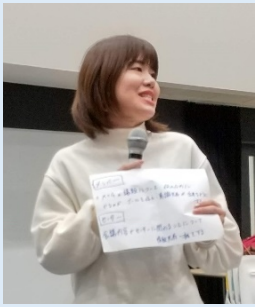
Q2. 研修はどのようなことをするのでしょうか？

A2.学生コーディネーターは、「ボランティアコーディネーター」として、同じ学生の視点から学生の活動を支援します。
そのために、ボランティアに関する正しい理解や、地域と学生をつなぐこと(ボランティアコーディネート)等に関する講義、ワークショップを織り込んだ研修を受講していただきます。また、活動をふりかえる機会としてのリフレクションも行っています。

Q3. 私は、地域でのボランティア活動に参加しています。活動とコーディネーターの両立は可能でしょうか？

A3.学生コーディネーターは、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、個人としてボランティアなどで関わっているテーマや地域(フィールド)を持つことが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生コーディネーターとしての活動を両立させることは可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外のボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

学生コーディネーターからのメッセージ



私が学生コーディネーターになった理由は、夏に学生コーディネーターが開催しているボランティアプログラムへの参加がきっかけです。初めは「1 度ボランティアを体験してみるか」という気持ちで参加しましたが、地域の方との触れ合いや活動を通し、様々な思いや価値観に触れ、大きな刺激を受けました。学生スタッフとして企画の運営やボランティアの相談受付をする中で、もちろん楽しい事ばかりではありませんが、私も感じた、「多くの人と関わり新しい自分の扉を開くことへのワクワク感を皆さんにも体験して欲しい！」と思い日々活動しています!!

一度きりの大学生活、講義だけでは学べない経験を通して、自分も成長出来る学生コーディネーターになってみませんか？
衣笠キャンパス 法学部 3 回生 筈見咲瑛さん

私が元々コーディネーターになりたいと思ったきっかけは大学外の様々な人と話す機会があるということでした。コーディネーターとして活動していく中でボランティア活動自体に参加することも学びになりますが、その企画・運営に携わると地域やボランティア団体の方々と深く関わることで得る学びや、自分にはなかった価値観に多く出会うことが出来ました。

企画や運営の難しさなどもありますが、試行錯誤して仲間と一緒に企画を作り上げた時は達成感があります。私たちと一緒に学生コーディネーターになってみませんか？

びわこ・くさつキャンパス 食マネジメント学部 2 回生 原田なみさん



学生や地域など様々な人と関わり同じ方向性を持って活動するのに大切なのは、『共感』、思いを共にすることだと考えます。そしてその共感が広がる事こそが、コミュニティの成長につながるとも言えます。私たち OIC のメンバーは、地域の人たちの思いに共感し、それを学内に伝え、共に活動する学生を募集することを中心に活動しています。

地域や学生という既存のコミュニティに参加する事は日常であっても、そのコミュニティをつなぐ架け橋になる為に取り組む事で、新たな形を生むことができる事が、この活動をする上での大きな魅力です。

新しい共感を広げる為に一緒に活動しませんか？

大阪いばらきキャンパス 政策科学部 3 回生 矢嶋崇人さん

立命館大学サービスラーニングセンター ミッション&ポリシー

ミッション（基本理念）

1. サービスラーニングの普及により、学生のシチズンシップ（ボランティアマインド等）を涵養する。
2. サービスラーニングに関わる調査、研究を行い、参加型学習プログラムを開発・運営する。
3. ボランティアなどの社会貢献・連携活動の情報を収集、編集、提供するとともに、相談、調整を行い、課外活動を支援する。
4. 社会貢献・連携活動に関わる地域・市民・団体・機関とのネットワークを構築する。
5. 学生と地域・市民・団体・機関との交流窓口として、両者に必要な活動や資源をコーディネートする。

ポリシー（行動原則）

1. 広い視野と見識を持つ地球市民を育成するために、変化する地域・社会や地域コミュニティのあり方に常に関心を向ける。
2. 正課・正課外の両方において学生の主体な学びが尊重されるよう、個と集団の両方が成長する適切なプログラムが提供できているか絶えず見直す。
3. 参加型学習によって専門学習やキャリア・パスへの接続がもたらされるよう、サービスラーニングやボランティア活動の機会を拡充する。
4. 主体的な学びの成果を全学にフィードバックできるよう、現場の教育力の評価や学習環境の条件整備のための客観的な指標の確立につとめ、積極的に用いていく。
5. 地域・市民・団体・機関等と学生のニーズのすりあわせは、学生および地域・社会の双方の将来を展望した上で行う。

